隔週金曜掲載

和歌山を創る新聞 わかつく

Vol.381
2026.2.6

認定特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL https://wnc.jp/
編集　志場 久起

和歌山を創る新聞「わかつく」を読む会をしませんか

https://wnc.jp/works/wakatsuku

和歌山を創る新聞「わかつく」編集担当者が記事について説明するする勉強会などのご希望を承ります。わかやま NPO センターまでお気軽にお問い合わせください。

紀美野町で“てんとうむし”の居場所づくり ～子育てフリートークの会てんとうむし～

紀美野町内で子育て中のママが「私」になる居場所づくりを目指して活動している「子育てフリートークの会てんとうむし」。メンバーの武部恭子さん、竹中みち子さん、徳田淳平さんに話をお聞きしました。

孤独感を和らげる人とのつながりを

武部さんは、発達凸凹の子どもを育てるなかで、発達凸凹の子育て中の他のママには出会うことがなく、孤独感を味わってきたことから、子育て中にはママたちとの交流が必要と感じていました。

そんななか、子どもに対する虐待のニュースを見るたびに「ママの味方になりたい」、「ママがすべて悪いのではない」という思いが強くなっていったといいます。孤独感を和らげるために、自分にとって必要なことは「人とのつながり」と考えてきました。

会の立ち上げへ

一方、竹中さんは西宮市から紀美野町に移住してきましたが、町内に不登校の子どもが多いことに驚いたといいます。そのような状況のなかでは、特にママ自身が自分を責めることが多く、辛いと聞いていた竹中さん。子育ての悩みをみんなで分かち合っていきたいと思っていた武部さんとともに「子育てフリートークの会てんとうむし」を立ち上げました。

てんとうむしは、幸福の象徴のような可愛さがあります。みんながてんとうむしに来たら、交流によって悩みも可愛いと思えるし、幸せを感じてほしいという願いを込めて名付け、２０２４年３月に活動をスタートしました。

そして、町内在住で会の趣旨に賛同した徳田さんが、ＳＮＳでの広報などを通して活動をサポートしています。

子育ての味方 地域とともに

てんとうむしに相談に来たママさんがスタッフに話をすることで心の悩みを整理することができます。また、子育ての味方になってくれる人を求めて来られるママさんと子育て経験者のてんとうむしのスタッフが語り合うこともできます。

ここでは弱音を吐いてもいいです。悩みを吐露してもいいです。ママ友はここにいます。そのような場づくりをしています。

参加したママとスタッフが友達になったり、ママ同士が友達になって交流が楽しくなったり、というつながりが生まれています。ママさん自身がこれからの自分について向き合うことも大事で、てんとうむしもその応援もしていきたいと思っています。

会は、毎週木曜日の午前中に開催しています。

多世代交流の場

これとは別に月に１回、地元の方を講師にしてイベントを開催しています。

１月は「昔あそびおもしろランド」として昔ながらの遊びや道具を作る技を持っている人に来てもらってワークショップをしました。50人程度の参加があり、高齢者と子どもたちとの触れ合いに、また高齢者のみなさんが笑顔で、そして元気に子どもたちに昔の遊びを教えている光景は心がほのぼのします。子どもたちも真剣に話を聞いて昔の遊びに熱中していました。

会のこれから

紀美野町は耕作放棄地を多く抱えています。その土地を使って人が触れ合える場に発展させていきたいと考えています。

地域のいろんな世代が参加して、保護者も学校に行ってない子どもも元気になり、高齢者も今までの経験を活かしてもらうことで生きがいとなるという場に育てていきたいと話してくれました。

例えば、費用をかけずによもぎを育て、その栽培に関わる人たちが、ひとりの人間として自立してんとうむしのように社会の中へ飛び立ってくれたら…夢は広がります。

（森下和紀）

ママのためのヨガ体験の様子

1月の昔あそびおもしろランドの様子

子育てフリートークの会てんとうむし
https://www.instagram.com/kimino2412/
写真は Instagram から引用しています。
※ 文中の「発達凸凹」とは、一般に「得意・苦手の差が大きいこと」を指します。

孤独 孤立 と 若者 の 居場所 と 自立 を考える。

身近な若者の“生きづらさ”や“不安”が気になる方へ。
研究と実践をもとに、地域ができることを一緒に考えます。

2026年2月8日（日） 参加無料

13:30～16:00
和歌山ビッグ愛9F 会議室Ｃ

開催方法 本会場＋オンライン（zoom）ハイブリッド開催

定員 会場30名 オンライン30名

子どもが学校教育から離れ、若者となり移行していくときの社会教育の充実が求められています。若者の居場所づくりを通して、大人としての自立のありようを再検討していきます。

右記二次元コードから、もしくはメール（info@wakayama-npo.jp）でお申込み。件名に2月8日シンポジウムと明記ください。※ 参加者氏名・電話番号・メールアドレス（PC からの受信可能なもの）をお送り下さい。

【共催】和歌山県 NPO サポートセンター
非営利任意団体 わたぼうしくらぶ（地域づくり団体活動支援事業申請団体）

【お問合せ】和歌山県NPOサポートセンター　☎073-435-5424　［休館］月・祝祭日［火～土］9:00～20:50［日］9:00～17:30

【基調講演講師】
阿比留 久美さん 早稲田大学 文学学術院 教授

若者協同実践全国フォーラム共同代表。専門は教育学（特に社会教育、青年期教育）。あらゆる若者が生き、育つことのできる環境醸成、有用性を問われない社会形成に関心がある。主な著作に『若者支援政策の現在地（仮）』（共著、明石書店、2025 年 3 月予定）『子どものための居場所論』（かもがわ出版、2022 年）、『孤独と居場所の社会学』（大和書房、2022 年）などがある。

【クロストーク登壇者】
松下 泰子さん 認定NPO法人ハートツリー理事長
永井 契嗣さん NPO法人エルシティオ 理事長
旭 惇志さん LeGAME 副代表
幸前青空さん NPOクリーン＆コネクト和歌山 代表

和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

オモロ寄席

日　程　2月28日（土）13:30～
場　所　和歌山県立図書館メディア・アート・ホール
内　容　こども落語「笑学戦隊オモロインジャー」による笑いと感動の寄席
参加費　無料
主　催　わかやま楽落会
問い合わせは katoku071@outlook.jp、または 090-9864-1344

このコーナーでは和歌山市NPO・ボランティア推進協議会加盟団体から提供されたイベント情報を不定期にお届けしています。